



第98回 市民雑学講座 報告

日時：6月10日(土) 午後3時30分から5時30分 場所：サンパルネコンベンションホール
講師 早稲田大学教育学部 千葉俊二教授 (昭47文卒、当会会員、多摩湖町在住)
「文学との出会い 森鷗外・谷崎潤一郎を中心に」



第98回目の市民雑学講座は『文学』をテーマにした、はじめての企画である。

千葉俊二教授には、ご自身の谷崎潤一郎研究の動機と絡めながら、森鷗外と谷崎潤一郎の作品を通して熱く語っていただいた。プロジェクターは使用せず、A4版4枚の配布資料を丹念に読みながらご説明頂いた事もあり、分かりやすかった。

森鷗外については、「サフラン」という随筆をとりあげた。約2,000字程度の短い随筆であるが、人生について考えていくのに大切なエッセンスを提示してくれている。

教授の解説は下記のように続く。「サフランと云う草と私との歴史」を綴って、異質なもの同士が出会えば、そこには必ず物語が立ち上がる。水素と酸素が出会えば、水に変化するように、物質においても異質なもの同士の結合は、何らかの化学変化を引き起こす。そこにどんな物語を紡ぎだしてゆくかは、作者の人生観や世界観、つまりはモラルにかかわる問題である。「物語のモラル」ということは、そうした自己の人生という物語を織りなしてゆく価値観のことをいっているのだろう。

谷崎潤一郎については、明治43年11月「新思潮」にのった「刺青」を取り上げた。「刺青」は谷崎潤一郎の短編小説で、皮膚や足に対するフェティシズムと、それに溺れる男の性的倒錯など、その後の谷崎作品に共通するモチーフがみられる初期の代表作である。

「愚(おろか)」と云う貴い徳を持って居て、世の中が今のように激しく軋み合わない時代、多くの人々が刺青をしてその衣装を比べ合っていた。清吉という、元浮世絵職人の彫師が美女の体に己の魂を彫り込みたいという宿願を持っていたが、満足する女を見つけられずに過ごしていた。そんな中、「駕籠の簾のかげから、真っ白な女の素足のこぼれて居るのに気がついた。鋭い彼の眼には、人間の足はその顔と同じように複雑な表情を持って映った。その女の足は、彼にとっては貴き肉の宝玉であった」と、これぞ自分の求めていた足だと確信した。

鷗外の「サフラン」との出会いと同じく、「一人の理想の女性の足」との出会いは、どんなものにも「出会い」があり、そこから物語が立ち上がる事を教えてくれる。

文学部の2年後輩である村上春樹にもふれた。村上春樹のその後の人生と自分の人生を比べて、人生はどこで変化するか「バタフライエフェクト」から説明された。「バタフライエフェクト」とは、初動時は無視できる小さな差が時間の経過と共に極めて大きな差になってしまう現象である。「南米で蝶が飛び空気をかき混ぜれば、北米でハリケーンが発生する」という形で説明されている。

最後に、教授は学生時代に鷗外の「渋江抽斎」に出会い、この作品が研究者の道へのきっかけになったと紹介された。この作品は「大阪毎日新聞」「東京日日新聞」に掲載された鷗外の史伝であり歴史小説の基礎となった。鷗外は歴史小説を書く上に必要な収集の中で出会った「武鑑」（江戸時代の大名・旗本の系譜・居城・官位・知行高・邸宅・家紋などを記した書）を通して考証学者・渋江抽斎を知る。自分との類似性を発見した先達・抽斎の生涯を探索し、その交友関係にあった人たちからの情報も含め、丹念に辿って調べ上げた作品である。その移り変わりこそ人生そのものである。

以上、森鷗外・谷崎潤一郎の作品を通して、「出会い」は物語の始め、歴史でもある」という鷗外の「サフラン」にある言葉のように、「人生の出会い」の意味をかみしめた講演であった。講演後 会場からの質問にも教授は丁寧に回答されていた。

来場者は、108名（会員：35、市民：73）と市民来場者が70%を占め、市民の方々の文学に対する関心の深さも痛感した。

（戸田志郎 記 赤荻洋一 写真）

・会員出席者35名（敬称略）

青木（淳）、青山、赤荻、市川（彰）、出田、伊吹、大内、岡田、風間、加藤、上町、鴨田、紅松（容）、黒田、小菅、崎山、清水、高橋（正）、滝川（桜）、滝来（京）、田口、田代、當間、戸田、富澤、野中、野村（茂）、福田（昇）、藤井三宅、森本、山本（岩）、吉澤（勇）、吉澤（雅）、吉田（勝）

・ご家族2名：風間夫人、富澤夫人

4月、5月、6月生まれ合同お誕生会報告

4月、5月、6月生まれの合同お誕生会が、6月10日（土）18：00～20：00に丸藤で行われました。お誕生者23名、お誕生者をお祝いする人8名（尚当日サンパルネ・コンベンションホールで行われた、第98回雑学講座で「文学との出会い 森鷗外・谷崎潤一郎を中心に」をご講演頂いた、千葉俊二早稲田大学教育学部教授が特別参加）、総勢31名の盛大なお誕生会となりました。紅松（容）さんの司会のもと、初めに大内会長が開会の辞、その中で出会いの大切さを述べられました。次に黒田さんの「こけない、頭を使う、体を使う、新しいことにチャレンジする事が認知症予防になり、この点東村山稲門会の役割は大きい」とのご挨拶の後、乾杯をしてお誕生会が始まりました。

会でのお誕生者の一言です。（敬称略）

當 間：頭健康維持のため、園芸の会を引き継いだ。東村山稲門会会長を退任した後、農協、寺、神社などの役が回ってきた。稲門会を大事にやって行きたい。

吉澤（勇）：健康のため毎日水泳をしている。谷崎源氏等の日本の古典も読んで見たい。

松澤（宏）：ぎっくり腰を患い、また首の狭窄症で剥離手術をうけた。健康の大事さを痛感している。頸動脈の検査は重要と考えている。

山本（岩）：東村山稲門会の会員増強を願っている。東村山稲門会への先輩たちのご努力に感謝している。

土 橋：家庭菜園を楽しんでいる。頭を使って菜園をやっているので認知症対策にも役立っていると思う。梅雨なのに雨が降らない。野菜への影響が大きいので最近よく外れる天気予報には注文がある。

滝川（正）：体調不十分であるが、グローバルンサロン英語の会への思いは強い。

成田（延）：昭和4年生まれ、もうすぐ88歳米寿である。東村山稲門会への思い入れは強い。

石 井：オープンカレッジの平家物語を読む会に参加している。東村山稲門会の盛況ぶりに感謝している。

小 菅：東村山稲門会でニュース、ホームページを担当している。総会で記念に皆さんに持ち帰ってもらったお花の状況を掲載したい。会のホームページを見てください。

富 澤：英語の翻訳で頭を使い、テニスで体を使い、ウォーキングの会の世話役で新しい事にチャレンジしており、認知症予防になっている。

赤 荻：趣味写真、鉄道好き、JR・私鉄の鉄道史にも興味あり。（会員の名字の駅名を紹介いただきました。但し、赤荻さんの駅名は無いとの事です）

森 本：雑学講座の盛況ぶりを見た。幹事の尽力に感謝したい。

滝川（桜）：去年の今日（6月10日）肘の骨を骨折したが、2日前に病院に行ったら医師に回復できたといわれほっとしている。

深 瀬：秋津町に住んで25年たった。先月触媒関係の新しい仕事に就いた。平日東工大の学食で若い人たちと一緒に昼食をとっている。当面仕事に頑張りたい。

青木（淳）：家庭菜園、囲碁、ジムでのトレーニングが趣味。3週間前鼻血が止まらず救急車に乗った。過労が原因との事であったが、健康の大事さを痛感した。

風 間：現在86歳、あと2年で米寿。6年前と4年前に手術をした。健康診断の大切さを痛感した。先日60年ぶりに野球の早慶戦を観戦し大変良かった。皆さんにも観戦を勧めたい。（西武新宿線の終点は昔高田馬場であったが、昭和27年3月に西武新宿まで伸びたとのお話もありました。）

市川（彰）：自分は演劇青年であった。（文学との出会いや、音楽関係の幅広いご趣味についてもお話をいただきました。）

- 大内 : 谷崎潤一郎との出会いは高校生の時。(谷崎源氏との出会いや東村山稲門会の盛会ぶりを語っていただきました。)
- 吉本 : 海外駐在が長く、趣味はゴルフ。(学生時代の野球の話もしていただきました。)
- 野村(茂) : 学生時代は吉永さゆり見たさの1年生であった。2年生より運動生理学の勉強を始めた。卒論は「登山と疲労」。
- 重原 : 学生時代女子学生は授業のノートを良くとっており、男子学生がノートを借りたもの。(女子学生としての学生時代の思い出を語っていただきました。)
- 田口 : IT系の企業を手伝っている。横文字や英略字に苦労している。
- 加藤 : 目に問題あり、白内障にかかってしまった。医者から処方された薬は使わず、目の運動をすることにより、1年後に回復した。現在は目と脳の関係に注目、目を鍛え脳への効果にチャレンジ中。

お誕生者の一言に続いて本日の特別ゲストである千葉教授に、高校時代に出会った谷崎潤一郎の「鍵」についての思い出を語っていただきました。その後恒例のお誕生者の記念撮影に移り、最後は井垣さんの指揮により、「東村山稲門会の歌」「早稲田大学校歌」を声高らかに斉唱し、和やかなうちに会はお開きとなりました。



(清水 聡 記 赤荻洋一 写真)

出席者 31名 敬称略

當間、吉澤(勇)、松澤(宏)、山本(岩)、土橋、滝川(正)
成田(延)、石井、小菅、富澤、赤荻、森本、滝川(桜)
深瀬、青木(淳)、風間、市川(彰)、大内、吉本、野村(茂)
重原、田口、加藤、千葉、紅松(容)、黒田、戸田、青山
岡田、井垣、清水

真夏の祭典「納涼会」開催のご案内

年毎に関東エリアの梅雨時期が長期化の傾向にあるそうです。今年の梅雨明け予測は7月後半ですので、恐らく8月後半も猛暑が続くことが予想されます。稲門会恒例の真夏の祭典「納涼会」を下記の要領にて開催いたします。ここ数年にわたり新しい会員の方が増えました。この機会に新たな交流の輪を広げ、さらに稲門仲間のもとより、現役学生との親睦をも深めていただくことを願っています。

皆様が集まり易い時期に、また翌日の仕事に影響がないような時間に開催日時を設定しました。今年のアトラクションには「早稲田のフラガール」で有名な「早稲田大学ハワイ民族舞踊研究会」を招き、早稲田祭2017運営スタッフの現役学生も参加し、また初の試みで来春卒業予定の市内居住の在学学生を招待いたします。

なお、会場では収益金が「校友会奨学金」として使途される稲門祭記念品の申し込みをお受けいたします。是非多くの稲門仲間がご参加下さるようお待ち申しております。また会員のご家族の参加も大歓迎です。

記



日 時 平成29年8月27日(日) 14時30分～17時
会 場 サンパルネ・コンベンションホール 東村山駅西口 ワンズタワー2階
アトラクション 早稲田大学ハワイ民族舞踊研究会ほか
会 費 会員 4,000円 会員ご家族 2,000円
お問い合わせは、定期事業担当 岡田一郎までお願いいたします。
TEL 042-399-3232 E-mail: i-okada96@jcom.home.ne.jp

会からのお知らせ

○平成29年8月定例役員会

日 時 平成29年8月5日(土) 14:00～16:30
場 所 ふるさと歴史館

○退 会

富田 昌樹氏(自己都合)

-次頁へ続く-

○会員増強活動への協力依頼

-前頁より続く-

創立20周年記念に合わせて会員増強運動を推進した結果、17名の校友に新たに入会していただきましたが、今年度は新規入会者がなく、高齢化による退会者と自己都合による退会者が発生して会員数が減少に転じております。かかる状況を打開するため、6月から今年度の組織増強委員会を発足させ、会員増強運動を再度展開致します。ポストパーソンをはじめ、会員の皆様にはご負担を掛けることがあると思いますがよろしくご協力の程お願い致します。又、入会可能な在住校友がおりましたら是非ご連絡下さい。

同好会だより

当会会員及びご家族の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

音楽同好会

世話人：市川 彰彦 TEL 042-308-8181

高橋 文子 TEL 042-449-5018



5月30日に行われた例会の様子を少々紹介します。当日の出席者は高橋(文)、吉澤(雅)、吉澤(勇)、高橋(正)小亀、倉田、山本(岩)、滝川夫妻、波多野、江藤、守屋、重原、岡田、小菅、市川彰彦(夫妻)の17名です。「東村山稲門会の歌」を、まず高橋(文)さんのピアノ伴奏で歌い始めます。曲の一部を紹介しますと、夏は来ぬ、雨降りお月さん、椰子の実、学生時代(吉澤雅子さんのオカリナ独奏)、竹田の子守唄(市川晴代のオカリナ独奏)、小亀さんのハーモニカ独奏など。また、モーツァルト作曲「五月の歌」を重原さんよりドイツ語の朗読や、解説をして頂きました。次回は7月31日(月)恩多ふれあいセンターで開催します。次回は開始を14時からにしました。ご注意ください。候補曲は夏をテーマに <アロハ・オエ、峠の我が家、ブラームスの子守歌(重原さんの解説があります)、知床旅情、浜辺の歌、サンタルチア、追憶、夏の思い出、夜明けの歌、かもめの水兵さん、遙かな友へ>などをあげています。その他、高橋(文)さんによる、ブラームス作曲のピアノ曲独奏やオカリナ、ハーモニカなどの独奏を期待しています。皆様のリクエストをお待ちしています。

園芸の会

世話人： 當間 昭治 TEL 042-391-6023

春まき草花の苗の交換会を、世話人宅で5月25日午後2時より行いました。参加された会員から、マリーゴールド・ジニア・ひまわり・コスモス・日々草・矢車草・どんぐり・アスター・トマト・キュウリ・ナス等計150個程の苗を持参いただき、その育てた時の苦労話と共に、交換会を行いました。初参加の富澤さんご夫妻は、今年の総会時に配布されたゴテジャの写真を持参され、披露いただきました。又、小菅さんからホームページ上に「園芸の会のお花畑」を作りたいとの提案がなされました。今年の総会時配布の5種の花の開花時の写真をお持ちの皆様、是非小菅さん宛にメールでお送り下さい。今後、ホームページ上に華やかなお花畑を咲かせましょう。次回の例会は「サギ草の展示会」です。下記日程で行いますので、是非ご参加ください。

記

日 時： 8月17日(木) 14:00~16:00

場 所： 市民センター第5会議室



・参加者(敬称略)11名： 池田、木谷、小菅同夫人、土橋、當間、同夫人、富澤同夫人、福田(昇)、藤澤

カラオケ同好会

世話人：南湖 修一 TEL 042-390-2287



6月2日午後6時から、ビッグエコー東村山店において、東村山三田会殿と東村山稲門会との合同カラオケ会が実施されました。我が稲門会からは、小亀・大内・滝川(桜)・山本(岩)・高橋(文)の各氏と南湖の6名が参加。三田会からは5名が参加し、和気あいあいと楽しいひと時を過ごしました。8月は5日、午後7時から、カラオケ家(久米川駅南口踏切そば)にて、例会を実施します。皆様ぜひご参加ください。

書道同好会

世話人：大森 平八郎
TEL 042-391-0535



5月31日 第10回 参加者4名 (敬称略)

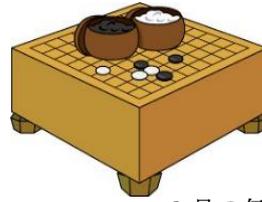
・赤荻夫人、上(素)、崎山、大森
会員・田代光一氏が用意くださった手本で、「転折」の練習を‘目口山去、の四文字で練習。小学校の手本のような筆遣い。次いで、昭和の後半に正月の‘二十人展、に出品されていた上條信山先生の手本“王人天仕”の四文字で横・タテ・左右の払いを再度練習しました。こちらは、作品になるような一画一画に力強さが加わった筆遣いで、全く雰囲気異なる二つの手本を楽しみました。

- 開催日：毎月月末
但し、公民館は月曜日が休館の為、月末が月曜日の時は前日（日曜日）
- 開催時間：午後3時40分～5時
- 開催場所：萩山公民館
住所 萩山町2-13-1
Tel 042-393-3170

*第12回開催日 7月30日（日曜日）
*第13回開催日 8月31日（木曜日）
○上 素子氏が入会され、会員は二桁となりました。
更なるご参加を期待しています。

囲碁同好会

世話人：福田 晃
TEL 042-394-0593
高橋 鶴次郎
TEL 042-391-6318



6月の例会は17日（土）午後1時より「東村山市民センター 第6会議室」にて開催されました。春季大会が終わったばかりで、一休みということなのでしょう。参加者も少なく、しかも体調不良により途中でお帰りになった方も居られ、寂しい例会となってしまいました。

- ・参加者（敬称略）6名
江藤、塩田、高橋（鶴）、青木（淳）、一色、福田（晃）
- 次回の例会

8月19日（土）13時～東村山市民センター
第6会議室

10月の秋季大会に向けて最後の練習となりますので、多数のご参加を希望いたします。

グローバルサロン英語の会

世話人 滝川正義 TEL 042-394-8187
小亀輝雄 黒田祐司 山本岩男

6月14日（水）市民センター会議室で、第37回の会を開催しました。

1. **英語のフレーズ** 担当：滝川（正） Come のフレーズの異なる意味を勉強しました。
2. **Listening** Voice of America の教材を使用しました。 担当：山本（岩）
Another Attack Hits Britain Days Before Election を聞き、英文解釈をしました。
3. **Singing** 担当：高橋（文）、滝川（正）
① Top of the world：世界の頂点 / Carpenters
② Close to you：遥かなる影 / Carpenters
4. **US Season Event（米国歳時記）6月 Flag Day 国旗の記念日** 担当：黒田



6月14日はアメリカ国旗の記念日です。1777年6月14日の大陸会議で、初めて青の地に円形に配置した白の13の星と13の赤白の横縞デザインに取り換えられました。アメリカ国旗は、国の創設以来の自由と正義・国家の統一を遵奉するシンボルです。

5. **Guest Speaker** 高橋 正夫氏 演題「私の見たヨーロッパ各国の特色」
ドイツ、スイス、イタリアの3国の特質について、体験を交えて語っていただきました。これら3国と日本では、政治や経済の仕組みと体制は大きく異なっています。デジタル時代に対応して、日本が発展するために改革しなければならぬヒントを得ました。現役時代、仕事の合間をみて訪問した美術館の多さに驚嘆しました。
- ・参加者（敬称略）13名：守屋、赤荻夫人、倉田、吉澤（勇）、高橋（正）、市川（彰）夫妻、高橋（文）、宮元 滝川（正）、小亀、黒田、山本（岩）

次回は、平成29年7月19日（水）、14:00～16:30、栄町ふれあいセンターで開催します。
ゲストスピーカーは、池田 孝氏です。
演題 「開発途上国食糧援助ミッションと日本の食糧安保体制」についてです。

女子会

「酒蔵見学と
ビール小屋レストランでのランチ」

世話人：滝川 桜子

TEL 042-394-8187

5月31日(水)、第4回女子会を石川酒造で開催しました。場所は、拝島駅からタクシーで7分程です。雨の心配もなく、まだ暑さも厳しくなく、屋外を見学してまわるには良い季節です。木々の葉の隙間から、時々、光の粒がこぼれ落ちてきます。10時半より見学&説明開始。まず、本蔵(国の有形文化財)の中に入ります。



酒蔵の中に入ったとたん、ひんやりした空気にかわりました。真夏でも22℃以上にはならないそうで、熱中症とは無縁の世界。酒蔵も、その中で保存されているお酒も静かに呼吸しているようでした。社員の橋本さんが、易しく楽しくお話してくださったので、お米の事、杜氏の仕事、今と昔の道具や作り方の違いなど、興味深く聞くことができました。酒蔵の外では、酒林(杉玉)、仕込み水(お酒の品質は水で決まる)、樹齢400年の夫婦檜(お米の神と水の神)、麦酒の釜(地ビール醸造に使用)、井戸、樹齢700年の御神木などの説明を受けました。

次は試飲会です。日本酒を3種類と梅酒をいただきました。修行が足りない私は日本酒の違いはわかるような、わからないような・・・けれども梅酒は、ホワイトトリカーではなく日本酒で作られているので、味がとても上品で

まろやか。すっかり気に入ってしまいました。試飲会の次はランチタイム! 8人なので、パスタランチとピZZラランチを4皿ずつ注文して、みんなでワイワイ言いながら分け合っていました。飲み物とデザートは自由に選びました。個人的には、ペールエールというビールの香と、酒粕のアイスクリームの食感に魅かれました。半年ぶりにお会いする方や初めてお話する方もいらっしゃいましたが、自然に打ちとけてなごやかに楽しく過ごすことができました。最後に「酒世羅」という売店で、それぞれお土産を探しました。ビール、日本酒、酒ケーキ、梅酒、梅酒の梅・・・リュックサックが必要でした。14時半頃、タクシーを呼び帰路につきました。

(森川 節子 記 崎山 裕子 写真)

高橋文子さんと當麻光子さんが、次回の幹事を引き受けてくださいました。11月下旬~12月ぐらいになりそうです。素敵なお会を企画してください。

参加者(敬称略)8名:上(素)、重原、高橋(文)、滝川(桜)
當麻、吉澤(雅)、崎山、森川(節)



俳句同好会 (稲酔会)

世話人 井垣 和太 04-2924-2934



第92回「稲酔」俳句会は、6月17日(土曜)14:00~久米川駅傍「丸藤」1階で開催しました。

句会出席者は、粟島三郎、井垣稲雀、風間青葉、黒田柿黒、高部糸行、山下波雲、に加えて所沢から句会初登場の山口泰山(S37卒)の計7名。欠席投句者は、出田麦穂、菊田一平、小亀稻生、波多野敏治、八木竜湖の5名。

兼題「祭」関連句24句を含む60句を肴に、選句、合評と話の花ざかり。

句会3時間、懇談会食3時間と、脳の活性化に最良の時間となりました。

投句参加12名による互選の結果、最高点句には

夏祭り雲掬ってる綿飴屋 稲 生
年古るも愛欲なほも桜桃忌 麦 穂

の2句が同点で選ばれました。

次回93回「稲酔」俳句会は、8月19日(第三土曜)14:00~丸藤でおこないます。兼題は「八月」です。どんな「八月」が見付けられるのでしょうか。

(稲雀 記)



パソコン同好会

世話人：小菅 宏 TEL042-391-0219
 福田 昇七 TEL090-9374-8944

- Aクラス デジカメで撮った写真データをパソコンに取り込む方法、ドキュメントにフォルダーを作成する方法、さらに作成したフォルダーにファイルを移動する方法を学習しました。
- Bクラス お困りごと相談：クラウド上にある写真を印刷する方法、ワードで表やテキストボックスを使う方法。

バックアップ：パソコンは現代の必需品です。そのデータが突然利用できなくなると、とても困ります。今回は、必要なデータのコピーを別の場所に保存する方法。バックアップソフトをインストールして、実際にデータ（文書や写真等）を外付けハードディスクにバックアップする方法の2つを学習しました。「備えあれば憂いなし」です。ご興味のある方、パソコンでお困りの方、パソコンを始める方 見学大歓迎です。

参加者 敬称略 下記の他にシルバー人材センターの講師2名がおります。

6月 3日（土）：Aクラス 三宅、森本、一色、月森夫人、小菅夫人

Bクラス 當間、滝来（京）、赤荻、藤井、小亀、小菅（講師）

6月17日（土）：Aクラス 三宅、森本、一色、小菅夫人

Bクラス 福田（昇）、藤井、赤荻、吉田（劭）、高橋（正）、小菅（講師）

早稲田スポーツを応援する会

早慶戦観戦記

世話人：富澤 文雄 TEL 080-5086-8461
 大内 一男 TEL 090-4836-5886
 小亀 輝雄 TEL 042-394-6951

5月27日（土）、スーパーカラービジョンに「**熱中症にお気を付け下さい**」との表示が度々出され、とても暑く満員の観衆の中で、春の野球・早慶戦が行われました。試合は、残念ながら5対8で早稲田が敗北しました。試合結果だけを見ると、乱打戦と思われそうですが、なんと安打数は早稲田が3本、慶応が4本でした。



そして、フォアボールが早稲田が4個で、慶応が6個でした。勝負の分かれ目になったのは、慶応が効率よく点をとったからです。フォアボールを生かし、6回と7回到満塁本塁打を打ったのです。この連続イニング満塁打は、東京6大学史上初だそうです。ただ、打たれた投手は、やりきれない思いだったと思います。

翌日、早稲田が12対6で慶応を倒して、慶応の優勝の夢を砕き、立教が1996年秋以来、実に35年ぶりに優勝と相成りました。終了後、新宿で西東京稲門会、小平稲門会の人達と交流を深めました。なお、球場では双方のOB、OGが、沢山観戦していました。春は暑い時期ですから大変だと思いますが、秋の早慶戦は一度観戦されたら如何でしょうか。実は、風間さんは60年ぶりに観戦され、60年前の学生に戻り、都の西北を歌い、非常に楽しかったそうです。ぜひ皆様にも観戦をお勧めします。

・参加者（敬称略）5名：大内、風間、小亀、富澤、伊吹

（伊吹 史郎 記）

ゴルフ同好会

秋期ゴルフコンペ開催のご案内

世話人：紅松 喬 TEL 042-393-6924

日 程：2017年9月14日（木）
 会 場：西武園ゴルフ場
 時 間：集合6：45 スタート7：39（5組）
 費 用：プレイ代は14,900円（昼食代別）
 +参加費4千円

○今回は他のゴルフ場も考えましたが、結果として西武園ゴルフ場となりました。スタートが従来よりも若干早いので集合時間を6：45とさせていただきます。ご了承下さい。
出欠の連絡を7月末日までに紅松までご連絡下さるようお願い致します。

第9回早稲田大学校友会ゴルフ大会

日 程：2017年11月2日（木）
 会 場：久邇カントリークラブ
 時 間：7：45集合、9：00ショットガンスタート
 人 数：200名
 費 用：16,600円（食事代等込み）+参加費4千円
 資 格：校友会費を払っている方

◎恒例の校友会ゴルフ大会が左記の如く開催されます。例年参加メンバーが固定されている感がありますので、今回は是非初めて参加される方を優先的に考えたいと考えております。楽しい大会ですので是非参加下さい。こちらの方は7月20日までに出席をご連絡戴きたく宜しくお願い致します。

ウォーキングの会

目黒不動 周辺散策報告

世話人：高橋 正夫 TEL 090-8588-2904
(目黒周辺 担当)



5月28日(日)はPR不足もあって、参加者6名と最近にない寂しいものでしたが、目黒周遊のコースは参加者から「予想したより見所が多かった」と好評を頂きました。JR 目黒駅から都内でも有数の急坂の行人坂を下って、大円寺へ。ここは江戸の町の大半を焼く尽くした明和の大火の火元になったことで有名です。そのあとは雅叙園ホテルの豪華なロビーに立ち寄り、五百羅漢寺を内部見学してから、折からの縁日で賑わう目黒不動に参拝しました。青木昆陽の墓、都内有数の西の市で有名な大鳥神社、そして目黒川沿いの遊歩道を歩き、終着点の中目黒駅付近で昼食を取って、帰路につきました。所用2時間半、徒歩時間 約1時間強の軽いウォーキングでした。参加者(敬称略)：青山、阿部、市川(彰)夫人、富澤夫妻、高橋(正)(記)



次回のご案内 谷根千と文学の道 (千葉先生も参加)
開催日：7月23日(日)

世話人：富澤 文雄 TEL 080-5086-8461
(谷根千 担当)

“谷根千”は、文京区から台東区一帯の谷中・根津・千駄木周辺地区です。JR 日暮里駅から昔ながらの商店街の谷中銀座(写真)を始めとして、東京の下町風情が残るこのエリアを散策します。その後、雑学講座の第2段として、千葉先生(写真)の解説の下、森鷗外記念館 - 団子坂 - 夏目漱石の旧居跡 - 永井荷風ゆかりの藪下通りと、文学の道を散策します。その後、根津神社に寄り、最後に森鷗外住居跡のある水月ホテル鷗外荘で豪華な?弁当を頂き、千代田線根津駅(JR 上野駅)に向かいます。歩行距離 約4.4kmのウォーキングです。



集合：午前9時東村山駅 高田馬場方面行ホーム中程(12分の電車に乗車)
雨天で判断に迷う場合は、当日朝7時までに富澤までお問い合わせ下さい。電話：080-5086-8461 富澤(記)



テニス同好会

世話人：野村 茂樹 TEL 042-393-7036
(副)：吉田 劭文 TEL 042-397-3293

西東京稲門会との交流 活発化!

6月は梅雨入りしたにも拘わらず、空梅雨のお蔭で予定通りプレーが出来ている。併せて、西東京稲門会殿との懇親テニスが、6月には2回開催されるなど、本会の活動は活況を呈している。直近の懇親テニス参加者は、滝来(京)・當間・野村(茂)・吉田(劭)の4名。今後は他のメンバーの参加も期待できる状況にある。まだ、当方の実力が備わっていないので、対抗試合を申し入れる段階ではなく、今少し時間を頂戴し実力アップを図りたい。6月実施例会日及び参加者は下表の通り。(何れも運動公園テニスコート)

○：参加者

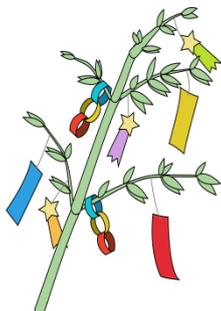
例会日	市川(晴)	滝来(京)	當間	野村(茂)	宮元	吉田(劭)	田島	山口	黒田	富澤	計
6月 2日	○	○	○	○	○	○		○			7
6月14日	○	○	○	○		○	○	○			7
6月16日	○	○		○		○	○	○	○	○	8

各例会日共に、4-0 又は 3-1 のスコアでの試合(全てダブルス)が多く、パートナーとの相性やフォーメーションに課題があることが分かった。これを克服しないと、西東京稲門会との対抗戦に勝利はない。

同好会等 短期予定表												
同好会・行事	7月					8月					世話人 (問合せ先)	
	日	曜	時間	場所	備考	日	曜	時間	場所	備考		
ウォーキングの会	23	日	9:00	東村山駅上りホーム		—	—	—	—		富澤	042-394-4292
郷土史の会	—	—	—	—		*	*	*	*		阿部	042-332-0298
テニス同好会	7	金	15:00~17:00	運動公園コートC		9	水	15:00~17:00	運動公園コートD		野村(茂)	042-393-7036
	12	水	15:00~17:00	運動公園コートDE		23	水	15:00~17:00	運動公園コートD			
	16	日	13:00~15:00	運動公園コートE		26	土	9:00~11:00	運動公園コートD			
	21	金	9:00~11:00	運動公園コートC		30	水	15:00~17:00	運動公園コートE			
囲碁同好会	—	—	—	—		19	土	13:00~	市民センター		福田晃	042-394-0593
カラオケ同好会	8	土	19:00~	カラオケ家		5	土	19:00~	カラオケ家		南湖	042-390-2287
園芸の会	—	—	—	—		17	木	14:00~16:00	市民センター		當間	042-391-6023
麻雀同好会	—	—	—	—		—	—	—	—		阿部	042-332-0298
音楽同好会	31	月	14:00~16:00	恩多ふれあいセンター		—	—	—	—		市川(彰)	042-308-8181
俳句同好会	—	—	—	—		19	土	14:00~	「丸藤」2階		井垣	04-2924-2934
ゴルフ同好会	—	—	—	—		—	—	—	—		紅松	042-393-6924
グローバルサロン 英語の会	19	水	14:00~16:30	栄町ふれあいセンター		16	水	14:00~16:30	市民センター		滝川(正)	042-394-8187
女子会	—	—	—	—		—	—	—	—		滝川(桜)	042-394-8187
早稲田スポーツを 応援する会	—	—	—	—		—	—	—	—		大内	042-393-6543
書道同好会	30	日	15:40~17:00	萩山公民館		31	木	15:40~17:00	萩山公民館		大森	042-391-0535
パソコン同好会	1	土	13:00~15:00	シルバー人材センター	勉強会	12	土	13:00~15:00	シルバー人材センター	勉強会	小菅	042-391-0219
	15	土	13:00~15:00	シルバー人材センター	勉強会	19	土	13:00~15:00	シルバー人材センター	勉強会		
雑学講座	—	—	—	—		—	—	—	—		吉田勝	042-344-2978

— :対象月に開催予定無し * :ニュース編集時点で未定。詳細は世話人にお問い合わせ下さい。

編集後記



○7月7日は七夕。今年も織姫と彦星は天の川を渡って、1年に1度の逢瀬を楽しんだでしょうか。小学校に勤務していた時は、毎年七夕が近づく子どもたちは短冊に願いを書いたものです。

「水泳で25メートル泳げるように」「字がきれいに書けるように」「大きくなったら野球の選手になりたい」などと。

何年か前の稲門会の納涼会でも、一人一人短冊に願いを書いて笹に吊りました。その時の願いは叶いましたでしょうか。

今年の七夕には「稲門会の皆さんがいつまでもお元気で、会の活動や行事に参加して下さいますように」と私は心の中で願いました。

(滝来 京子 記)

○次号の原稿締め切りは、7月22日(土)です。皆様の投稿をお待ちしています。送付先 山本 岩男 FAX:042-391-7976 E-mail:yamamoto.i@jcom.home.ne.jp

俳壇

山車を引く親子三代笑顔かな 風間 青葉
 エビ天の衣分厚き薄暑かな 菊田 一平
 涼しさの手水右手に左手に 黒田 柿黒
 立葵みんな大きな家ばかり 小亀 稻生
 つばめ飛ぶテニスの後の疲労感 高部 糸行
 風ゆらす草に孤高のきりぎりす 戸田 泉
 七月は折り返し点流れ行く 波多野 敏治
 生き残り傘寿の仲間生ビール 八木 竜湖
 山を越え祭り太鼓の音の波 山下 波雲
 春愁や言い残すこと一つ増え 粟島 三郎
 梅雨入りしアジサイの花輝けり 岩伝心 細き清水に唇を寄す
 梅雨空に白き殿堂コール刺す 忍び返し風返しと蔵涼し
 老い一人遠く眺むる荒神輿 担ぎ手の女子力ふえし荒神輿
 法被の児祭りを背負ふ心意気 リハビリの三時のおやつ水ようかん
 打込みの女流剣士や雲の峰 東北を一巡りして祭り通
 若鮎や堰の飛沫を潜り抜け 半夏生日記のしおり端のまま 井垣 稻雀
 岩伝心細き清水に唇を寄す 出田 麦穂
 忍び返し風返しと蔵涼し 古稀過ぐもなほ愛と性根桃忌